



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月6日

上場会社名 ユニチカ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3103 URL <https://www.unitika.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上埜 修司

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大西 正哲

TEL 06-6281-5721

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	27,290	10.0	1,566	7.0	903	17.3	315	
2020年3月期第1四半期	30,311	5.4	1,464	43.9	1,091	56.8	2,044	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 512百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 1,853百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	4.09	2.16
2020年3月期第1四半期	36.85	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	190,553	39,124	18.7
2020年3月期	193,726	38,933	18.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 35,694百万円 2020年3月期 35,481百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。2021年3月期の配当予想につきましては、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。また、当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で新型コロナウイルス感染症の拡大が事業活動及び経営成績に与える影響を合理的に見積ることが困難であることから、未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社コソフ
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	57,752,343 株	2020年3月期	57,752,343 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	94,402 株	2020年3月期	94,343 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	57,657,967 株	2020年3月期1Q	57,658,526 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	12,000.00	12,000.00
2021年3月期	—				
2021年3月期(予想)		0.00	—	12,000.00	12,000.00
B種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	23,740.00	23,740.00
2021年3月期	—				
2021年3月期(予想)		0.00	—	23,740.00	23,740.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、自動車など幅広い業種における生産や販売の急減や、インバウンド需要の消滅、自粛ムードを背景とした需要減少などにより、後退局面となりました。世界経済でも、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の停滞が顕在化し、また、感染収束の時期が見通せず、さらなる影響の拡大・長期化が懸念されるなど、国内経済と同様に後退局面となりました。

このような状況の下、当社グループは、本年5月に公表しました新中期経営計画「G－STEP30 1st（ジーステップ・サーティ ～ファースト）」に掲げる成長ステージに向けた基盤強化を最優先とした基本方針である、強固な事業ポートフォリオの構築、グローバル化の推進、社内風土・意識改革の実現を進めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は27,290百万円（前年同四半期比10.0%減）、営業利益は1,566百万円（同7.0%増）、経常利益は903百万円（同17.3%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は315百万円（前年同四半期は2,044百万円の損失）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」に記載しております。

【高分子事業】

高分子事業は、新型コロナウイルス感染症拡大により、自動車関連用途などの販売が影響を受けました。

フィルム事業では、包装分野は、土産菓子用途などのインバウンド需要は低調でしたが、外出自粛、在宅勤務、休校などによる「巣ごもり需要」の影響により、食品や液体洗剤の詰め替えなどの用途は堅調に推移し、インドネシア子会社のP.T. EMBLEM ASIA（エンブレムアジア）も堅調でした。また、バリアナイロンフィルム「エンブレムHG」などの高付加価値品は国内外で好調に売上を伸ばしました。工業分野は、自動車関連用途など全般的に低調でしたが、シリコンフリー離型ポリエステルフィルム「ユニピール」などの高付加価値品の販売は堅調に推移しました。

樹脂事業では、自動車、電気電子、機械用途での生産減少及び市況停滞により需要が減少し、ナイロン樹脂の販売は低調でした。また、ポリアリレート樹脂「Uポリマー」も情報端末機器用途向けで伸び悩み、苦戦しました。その他の機能樹脂の各素材についても低調でした。

以上の結果、高分子事業の売上高は10,123百万円（前年同四半期比14.4%減）、営業利益は1,364百万円（同18.0%減）となりました。

【機能資材事業】

機能資材事業は、新型コロナウイルス感染症拡大により、医療用ガウンや一部の衛生材向けの販売は伸長しましたが、自動車、建築土木などを中心に多くの用途での販売が影響を受けました。

活性炭繊維事業では、海外販売が減少したことに加え、自動車向け用途が減少し、浄水器用途も住宅向けなどで減少しました。

ガラス繊維事業では、産業資材分野は、透明不燃シートは堅調でしたが、建築土木、環境関連、自動車などの各用途は低調でした。電子材料分野のICクロスは、情報端末機器用途は伸び悩みましたが、テレワークの増加でパソコンや半導体用途は堅調に推移し、超薄物や低熱膨張タイプなどの高付加価値品も堅調でした。

ガラスビーズ事業では、道路工事の休止や延期により、道路用途は減少し、工業用途も自動車向けを中心に低調で、反射材用途も苦戦しました。

不織布事業では、спанボンド不織布は、タイ子会社のTHAI UNITIKA SPUNBOND CO., LTD.（タスコ）も含めて、建築、自動車などの各用途は低調でした。生活資材用途は医療用ガウン向けなどで伸長し、好調に推移しました。спанレース不織布は、医療用ガウンや除菌シートなどの用途が伸長し、スキンケア用品用途などの減少分をカバーしました。

産業繊維事業では、ポリエステル短繊維は、一部の衛生材用途は好調でしたが、建材、自動車、生活資材の各用途は低調に推移しました。ポリエステル高強力糸は、建築土木用途が低調でした。

以上の結果、機能資材事業の売上高は7,495百万円（同9.1%減）、営業利益は189百万円（前年同四半期は43百万円の損失）となりました。

【繊維事業】

衣料繊維事業では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、レディース分野など各分野で全般的に厳しい状況で推移し、主力のユニフォーム分野も低調でしたが、医療用ガウン及び防護服用途は好調でした。海外向けデニム生地の販売は伸び悩みました。

以上の結果、繊維事業の売上高は9,663百万円（前年同四半期比4.6%減）、営業利益は82百万円（前年同四半期は30百万円の損失）となりました。

【その他】

その他の事業につきましては、売上高は8百万円（前年同四半期比92.1%減）、営業損失は10百万円（前年同四半期は121百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ3,172百万円減少し、190,553百万円となりました。これは、主として現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少したことによります。負債は、前連結会計年度末に比べ3,363百万円減少し、151,429百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が減少したことによります。純資産は、前連結会計年度末に比べ191百万円増加し、39,124百万円となりました。これは、主としてその他の包括利益累計額が増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で新型コロナウイルス感染症の拡大が事業活動及び経営成績に与える影響を合理的に見積ることが困難であることから、未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,860	17,618
受取手形及び売掛金	30,953	28,381
たな卸資産	29,498	30,284
その他	2,961	2,916
貸倒引当金	△48	△46
流動資産合計	82,225	79,155
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	21,543	21,405
土地	65,191	65,085
その他(純額)	18,711	18,950
有形固定資産合計	105,447	105,440
無形固定資産		
その他	1,756	1,749
無形固定資産合計	1,756	1,749
投資その他の資産		
その他	4,380	4,274
貸倒引当金	△84	△64
投資その他の資産合計	4,296	4,209
固定資産合計	111,500	111,398
資産合計	193,726	190,553

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,922	12,376
短期借入金	2,288	2,336
1年内返済予定の長期借入金	2,675	2,660
未払法人税等	284	210
賞与引当金	1,710	946
製品改修引当金	42	42
その他	9,313	9,769
流動負債合計	31,237	28,342
固定負債		
長期借入金	94,631	93,895
訴訟損失引当金	2,566	2,592
退職給付に係る負債	14,333	14,395
その他	12,024	12,204
固定負債合計	123,554	123,086
負債合計	154,792	151,429
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	13,218	13,218
利益剰余金	21,559	21,554
自己株式	△56	△56
株主資本合計	34,821	34,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	361	400
繰延ヘッジ損益	△11	△16
土地再評価差額金	6,412	6,412
為替換算調整勘定	△3,521	△3,440
退職給付に係る調整累計額	△2,581	△2,477
その他の包括利益累計額合計	660	878
非支配株主持分	3,451	3,429
純資産合計	38,933	39,124
負債純資産合計	193,726	190,553

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	30,311	27,290
売上原価	23,429	20,559
売上総利益	6,882	6,731
販売費及び一般管理費	5,417	5,164
営業利益	1,464	1,566
営業外収益		
受取利息	32	14
受取配当金	37	40
受取賃貸料	31	21
その他	145	134
営業外収益合計	247	211
営業外費用		
支払利息	299	290
持分法による投資損失	1	18
為替差損	213	463
その他	106	102
営業外費用合計	620	875
経常利益	1,091	903
特別利益		
固定資産売却益	—	79
特別利益合計	—	79
特別損失		
固定資産処分損	225	253
投資有価証券評価損	42	24
訴訟損失引当金繰入額	2,500	26
その他	—	6
特別損失合計	2,768	310
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,677	672
法人税、住民税及び事業税	97	131
法人税等調整額	278	234
法人税等合計	375	366
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,052	305
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8	△10
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,044	315

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,052	305
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28	38
繰延ヘッジ損益	△49	△4
為替換算調整勘定	180	69
退職給付に係る調整額	97	103
その他の包括利益合計	199	206
四半期包括利益	△1,853	512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,846	534
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	△21

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は経済、企業活動に広範な影響を与える事象であり、また、今後の広がり方や収束時期等を予測することは困難なことから、当社グループは外部の情報源に基づく情報等を踏まえて、今後、2021年3月期の一定期間にわたり当該影響が継続するとの仮定のもと、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

当該見積りに用いた仮定において、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した内容から重要な変更はありません。

なお、この事象は不確実性が高く、その影響が長期化した場合には将来において損失が発生する可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能資材 事業	繊維 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,823	8,248	10,127	30,199	112	30,311	—	30,311
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,949	1,027	135	3,113	18	3,131	△3,131	—
計	13,773	9,276	10,262	33,312	130	33,443	△3,131	30,311
セグメント利益又は損失 (△)	1,663	△43	△30	1,589	△121	1,468	△3	1,464

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能資材 事業	繊維 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,123	7,495	9,663	27,282	8	27,290	—	27,290
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,060	1,143	50	3,255	—	3,255	△3,255	—
計	12,184	8,639	9,714	30,537	8	30,546	△3,255	27,290
セグメント利益又は損失 (△)	1,364	189	82	1,636	△10	1,626	△59	1,566

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、新中期経営計画推進に向けて組織運営体制を変更し、当社グループ内の管理区分を見直したことに伴い、報告セグメントを従来の「高分子事業」、「機能材事業」、「繊維事業」から、「高分子事業」、「機能資材事業」、「繊維事業」の区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分方法により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

当社が、愛知県豊橋市(以下「豊橋市」)から1951年に譲り受けた工場用地を第三者に売却したことは、用地を譲り受けた際の契約に違反するとして、豊橋市住民が豊橋市長に対し、当社に対して損害賠償金の支払い等を請求するよう求めていた訴訟(当社は補助参加人として参加)につきましては、2020年7月21日、最高裁判所第三小法廷において、当社らの上告および上告受理申立てについて、上告を棄却し、上告審として受理しない旨の決定がなされました。